



青森総合卸センターニュース

編集・発行 協同組合青森総合卸センター 〒030-0131 青森市問屋町2丁目17-3 ☎017-738-4711 FAX017-738-7323
URL <https://www.tonyamachi.com> E-mail info@tonyamachi.com 発行/2025年10月31日

問屋町地区の街路樹伐採等工事が完了

卸団地景観再整備計画進行中

組合で進めていた問屋町地区の街路樹伐採等工事が10月に完了した。

組合が実施した団地内インフラ調査の結果、問屋町地区の街路樹が歩道の劣化や夜間照度の低下等を引き起こしていることが判明。これを受けて今年の7月より、卸団地景観再整備計画として問屋町地区の枝線道路南北ライン等の街路樹222本を伐採・伐根・撤去し、その後アスファルト舗装が実施された。

組合員からは「景観がすっきりして街並みがより明るくなった」「夜間の明るさが確保されて防犯面でも安心」「落ち葉や銀杏拾いの負担が減り、気分が楽になった」など



と好意的に受け止める意見が多く聞かれた。

同計画では新たな卸団地の景観づくりとして、(株)隈研吾建築都市設計事務所がデザインを手がける街路樹・まちなみリノベーション構想が進行中。今後は木材を活用したストリートファニーニチャーとして、ベンチや待合シエルト、ポールモニュメントが組合会館やまなす会館周辺に設置される予定。

企業の防災意識向上へ 問屋町防災訓練

9月19日(金)に13回目となる問屋町防災訓練が問屋町会館で開催され、組合員30名が参加した。青森県防災士会青森支部、日本赤十字社青森県支部から指導員を招いて訓練は行われた。同訓練は、企業の防災意識向上を目的に東日本大震災を契機として2013年より実施している。

当日は大平環境対策委員長挨拶の後、参加者は災害対応訓練と救命訓練を実施。災害対応訓練では「震度6強以上の地震が団地内で発生した」との想定のもと、グループごとに4つの課題に対する最適な対応策を検討。実際の災害

ラインメール青森FCを応援しよう！

11月ホーム戦情報

問屋町にクラブオフィスを構え、Jリーグ参入を目指しているプロサッカーチーム「ラインメール青森FC」。2025年シーズンは10月末日時点でJFLリーグ3位と、J3昇格圏の2位にあと一歩と迫る好位置につけている。昇格には順位に加え、「ホーム戦1試合平均観客数2000人」の達成も必要となり、現在の平均観客数は1946人。

残るホーム戦は下記の2試合で、計4702人の来場が



ラインメール青森FC 11月ホーム戦

発生時を意識した活発な意見交換が行われた。続く救命訓練では、心肺蘇生法及びAEDの使用方法についてデモ機を用いた実技指導が行われた。参加者からは「災害時の対応を話し合うことで新たな気づきがあった」「AEDに触れる機会が少ないため、再確認できた」などの声が聞かれた。組合では、今後も防災意識の更なる向上を目指し防災訓練を継続していく。



災害対応訓練



救命訓練

第4回理事会

2025年度第4回理事会が9月26日（金）に問屋町会館で開かれ、審議の結果、全て原案どおり承認された。

また、事務局からは中途採用者合同企業説明会の実施結果や環境省エコアクション21の認定などについて報告した。

主な案件審議は次のとおり。

案件一、問屋町交流ストア改修工事の施工業者決定について
案件二、労務対策委員会からの意見について
案件三、景観再整備検討ワー

両会の親睦さらに深まる

同友会 青友会合同交流会



恒例の1分間スピーチで盛り上がる

青森問屋町経営同友会（同友会）と問屋町支店長・所長連絡会（青友会）の第10回合同交流会が10月3日（金）に

ホテル青森で開催され、両会会員ら33名が参加した。同友会の元木会長の挨拶に続き、青友会の西堀副会長の乾杯の発声で懇親会が始まった。懇親会では、同友会で恒例となっているダイエットグランプリの中間測定が行われたほか、交流会恒例の参加者全員による1分間スピーチも実施。今回のテーマは「休日の過ごし方」で、参加者からは普段の余暇の過ごし方や最近始めた趣味など多彩な話題が披露され、会場は笑いや拍手に包まれた。終始和やかなムードで交流が進み、両会の親睦をいっそう深める機会となった。



D X の取り組み状況を意見交換

DXの取り組み事例を共有

県団協女子職員研修会

青森県内4卸団地で組織される青森県流通団地連絡協議会では、女子職員を対象とし



組合員の協力で集まった食料品

キング委員会からの意見について

案件四、金融事業検討特別委員会からの意見について

案件五、組合施設の賃貸及び改修費の借入について

案件六、つなぎ資金の借入及び借換について

案件七、2025年度第5回理事会の日程等について

56箱分の食料品を寄付

とんやまちフードドライブ

組合では9月16日から1週間、第3回とんやまちフードドライブを実施した。今回は11社から未使用の食料品が計56箱分（約500kg）寄せら

れ、福祉施設や子ども食堂等に寄付された。

組合では今後も年2回のペースでフードドライブを実施する予定で、次回は年明けの2月に食品の寄付を募る。

【とんやまちフードドライブ提供企業一覧】

昭産商事(株)・太子食品工業(株)・(株)小田川・(株)伊藤園・コンファックス(株)・ミリオン(株)・青森精機(株)・ライフサポート・エガワ東北・大青工業(株)・セブンイレブン青森問屋町1丁目店・(協)青森総合卸センター

組合員らが操縦に挑戦

問屋町ドローン体験会

9月24日（水）に青森市はまなす会館でドローン体験会が開催され、組合員従業員ら6名が参加した。講師は、ドローンパイロット有資格者で組合員のコクサイ通信特機(株)



楽しみながらドローンの操縦を体験

の中村社長が務めた。体験会では中村社長が基本操作をレクチャーした後、参加者1人ずつ操作を体験。操縦に成功すると会場からは歓声が上がリ、終始楽しそうに操作方法を学んだ。

問屋町ビジネススクール

特別講演会開催のご案内

研修会では「DXの取り組み内容について」をテーマに、各団地が現在進めている具体的な事例が紹介された。参加者同士による活発な意見交換も行われ理解を深め合った。研修会終了後には、イタリアンレストラン「Maria Rosa」で懇親会が開かれ、参加者は美味しい料理に舌鼓を打ちながら交流した。

会場 問屋町会館1階会議室
参加料 無料
講師 Primopinguino(株) 代表取締役 木下峻一氏



▲BS特別講演会のお申込みはこちらから

■栄養補助食品 製造(OEM受託) 販売(通信販売、卸販売)
■化粧品卸販売 ■農業資材、環境改善機器等の卸販売



株式会社 ミリオン

営業時間 平日：月～金曜 AM9:00～PM6:00
定休日 土・日曜、祝日

〒030-0131 青森市問屋町1丁目9-6

TEL 017-763-0880 FAX 017-763-0881



0120-404-303

ミリオン健康ランド <http://www.t-mirion.co.jp/>

お気軽にご相談ください。

オリジナルサプリメント製品をデザイン
設計から製造まで一貫して行います。
試作・小ロット・大ロットまで対応。

経済産業大臣許可(互)第2003号

～たいせつなご家族のために、小さな掛金で大きな安心を～

株式会社 ゆうネット

青森・弘前・黒石・平川・五所川原・つがる・十和田

本社 青森市栄町1丁目11-19

TEL 017-743-3711

FAX 017-741-7776

ホームページは
こちらから▶



表彰制度を新設
問屋町緑のボランティア隊

街路樹の雑草を丁寧に引き集める

問屋町緑のボランティア隊は、10月19日(日)に今年度最後となる第4回活動を実施

し、第二問屋町で街路樹の下枝刈払いと除草作業を行った。晴天の下、隊員及び家族22名が参加し、伸びた下枝や雑草が整えられ美しい景観がよみがえった。

同隊は2006年7月に結成され、現在48名が在籍。毎年、問屋町東口緑地での花苗植栽や街路樹の手入れなど、問屋町の緑化・美化活動に継続的に取り組んでいる。こうした長年の活動に感謝の意を表するため、今年度より表彰制度を新設。5回参加者には奨励賞を、10回参加者には功労賞を授与する。今年度の活動は終了したが、来年度に向けて新規隊員が随時募集している。お問い合わせは卸センター業務部(後藤)まで。

業務報告

主要事項

- 9月
- 5日▽県流通団地連絡協議会 第1回組合女子職員研修会
 - 8日▽第4回集団健康診断
 - 11日▽第2回公共施設等視察会
 - 16日▽第6回問屋町合同清掃
 - 19日▽第3回とんやまちフー ドドライブ(19日)
 - 19日▽第13回問屋町防災訓練
 - 21日▽第8回景観再整備検討 ワーキング委員会
 - 21日▽第3回問屋町緑のボランティア隊
 - 24日▽第3回労務対策委員会
 - 25日▽第6回問屋町ドローン 体験会
 - 25日▽安協問屋町支部第3回 街頭指導
 - 25日▽第1回金融事業検討特別委員会
 - 26日▽第4回理事会
 - 2日▽明日から使える営業術
 - 5日▽AI活用・爆速仕事術
 - 11日▽相談応対力向上セミナー
 - 16日▽社内ノウハウ見える化講座
 - 18日▽簿記の知識がなくても決算書が見れるようになる
 - 25日▽部門連携のメリット

問屋町
ビジネススクール

ちよこつと情報室

第2弾・後編

(株)商工組合中央金庫青森支店

支店長 那須 敦

企業理念の見直し・新
規策定が求められる理由
とは?

前回は、企業理念を持つ中小企業の割合やその目的についてご紹介しました。今回は、企業理念の見直しや新規策定の必要性を感じる企業の背景と、代表的な理念の内容について掘り下げます。

調査によると、企業理念を持つ企業のうち約2割が「見直しの必要性を感じている」と回答。また、理念を

持たない企業のうち約4割が「新たに策定する必要がある」としています。その理由として最も多かったのは「経営者の交代」や「SDGs・ダイバシティーなど新たな潮流への対応」で、時代の変化に合わせた理念の再構築が求められていることがわかります。

企業理念の内容については、「社会貢献」「社員の方・行動指針」「企業の方・目指す方向性」などが多く、特に「地域への貢献」や「社員の幸福」「お客様への感動提供」など、具体的に共感を呼ぶ表現が目立ちました。これらは、企業の価値観や存



(株)商工組合中央金庫青森支店
支店長
那須 敦氏

や表現方法も、企業の姿勢や価値観を反映する重要な要素となつていきます。理念の浸透に向けた取り組みとしては、社内報やHPでの発信に加え、社員参加型のワークショップや、経営層に

「ヨンは5年以内に策定された企業が多く、時代に合った呼称や内容の変化も見られます。理念の呼称や価値観の姿勢や価値観を反映する重要な要素となつていきます。理念の浸透に向けた取り組みとしては、社内報やHPでの発信に加え、社員参加型のワークショップや、経営層に

よる定期的な発信が効果的とされています。理念を単なる言葉で終わらせず、日々の業務や人事制度と結びつけることで、社員の行動や意識に変化をもたらすことが期待されています。企業理念は、企業の「軸」であり「羅針盤」です。変化の激しい時代だからこそ、自社の理念を見直し、未来に向けた指針として活用することが求められています。商工中金は「企業の未来を支えていく」というパーパスのもと、中小企業の全パートナーとして、金融支援に加え各種診断サービス、情報提供を通じて中小企業の皆様の経営課題に寄り添い、解決に向けた伴走支援をしています。

(元)



北燃商事株式会社

青森支店 〒030-0113 青森市第二問屋町4丁目2番10号
TEL(017)752-8700 FAX(017)752-8703
<https://www.hokunen.jp>



事業内容 医療機器、院内ソリューションの提案・設置・メンテナンス等
映像音響及びICT機器の提案・システム構築・設置・保守等
各種イベント運営からハードレンタル、オペレーション業務等

コセキ株式会社 本社：宮城県仙台市青葉区堤通南宮町2番26号 TEL 022(272)2211

青森営業所：TEL 017(738)4506 (青森県青森市問屋町二丁目20番5号)

八戸出張所：TEL 0178(21)6636 (青森県八戸市下長一丁目16番21号)

建設工事の合理化を実現する



丸井産業株式会社

〒030-0131
青森県青森市問屋町二丁目11-6
TEL 017-753-0101 FAX 017-728-0101



STS ロジスティクス・ソリューション

株式会社 新開トランスポートシステムズ

- ◆総合物流事業
 - 包装・輸送・保管・荷役・搬入・据付・撤去
 - 包装資材加工及び物流機器の販売
 - 技術・情報システムのソフト開発及び販売
 - 工場クリーンルーム内の搬入・据付・搬出・輸送
 - 医療機器・半導体装置・精密機器・その他機器の輸送・搬入・据付・撤去
 - 倉庫内セキュリティ完備・一部空調設備有り
- ◆電気通信工事サポート
- ◆物流システム設計
- ◆ネットワーク＆フットワーク
 - 輸送ネットワーク・情報ネットワーク・フットワーク
- ◆産業廃棄物収集運搬

本社 TEL:03-5653-9335 FAX:03-5653-9337
青森営業所 TEL:017-728-7080 FAX:017-728-7081

ICTを活用した 温室トマト工場等を視察 公共施設等視察会

組合では、公共施設等視察会を9月8日(月)に実施し、組合員ら16名が参加した。今回は、青森県むつ市の(株)寅福プラントと海上自衛隊大湊基地を視察した。

(株)寅福プラントは県と市が誘致し、2024年4月に稼働した大規模温室トマト工場。工場内はICTを活用して管理され通年出荷を可能とし、年間約1500tのトマトを生産している。温水の燃料となる木質チップは燃焼時の排ガスもトマト育成に利用され、カーボンマイナスの実

現に取り組む。
大湊基地では、北方海域の防衛拠点としての役割や周辺の観光・交流施設について説明を受け、基地の歴史や機能に理解を深めた。



工場2階からトマトの生育を視察

環境省エコアクション 21に初認定

組合が環境省の「エコアクション21」に初認定された。同制度は環境省が策定した環境マネジメントシステムで、環境負荷を把握・評価し、エネルギーや廃棄物の削減などの取り組みを計画・実施・改善することで持続可能な経営を支援する。

組合では、SDGs推進活動の一環として問屋町会館の省エネルギー化に取り組んでおり、昨年から事務局内に設置した省エネチームを中心に認定取得を目指して準備を進めてきた。

チーム代表の鶴谷職員は



組合事務局の省エネチーム

「日々の業務の中でできることを一つ一つ積み重ね、認定という形で成果が出たことを大変うれしく思う」と喜びを語った。

組合では、今後も環境に配慮した会館運営に取り組む。

団地企業訪問

今回の団地企業訪問は、(株)ライフサポート・エガワ東北青森支店の三原支店長にお話を伺った。

同社は、昭和37年に創立された(株)江川運送を前身とした運送会社である。

東北・関東を中心に事業を展開する同社は関東と東北にそれぞれ法人を持ち、東北には6カ所に支店を構えている。幅広い地域を対象に、運送だけでなく在庫管理・受発注・個別配送を一貫して請け負う3PL事業を主に展開し、自社拠点を結ぶ強固なネットワークを用いた共同配送を行っている。

同社の取り組みについては

「1年かけてドライバーを育成するエガワアカデミーの新入社員研修やオープンカンパニーといった次世代の人材育成や、CO₂排出量可視化サービス及び一部地域でのEVトラックの導入など環境への取り組みにも力を入れています」と語る。



(株)ライフサポート・エガワ東北
支店長
三原 啓氏

業界の現状や今後の目標について尋ねると「メーカー各社での原材料高騰に伴う値上げに加え、車両・燃料コストの上昇や2024年問題による就業時間規制が重なり、厳しい局面です。業務の見直しや部門間や取引先との連携強化による作業の円滑化を行い、物流

の簡略化・ホワイト物流を目指して事業を行っていききたい。私自身も自己研鑽を忘れず、日々勉強していきます」と語った。同氏のプライベートルームについて話が進むと「達人を目指して様々なことに取り組んでいます。最近はおぼろやアートの作成をしていました。ジブリ作品などのキャラクターを題材に作成し、写真をXに投稿しています。なかなか「いいね」が増えないのが悩みのですが、毎年新作を作っているのを見てほしい作品がたくさんあります。ぜひ、Xの投稿を見てください」と笑顔で話してく



最後に座右の銘を尋ねると「『つべこべ言うな!結果がすべて』です。我が家の家訓のようなもので、私自身この言葉とともに育ってきました。結果にこだわらず、柔道の寝技のように粘り強く、諦めなければ結果は必ず出るという気持ちで何事にも取り組んでいます」と語った。

同氏が制作したかぼちゃアートは問屋町会館にて11月14日まで展示中です。(59歳)

編集後記

懸案となっていた問屋町地区の街路樹伐採。終わってみると街並みがスッキリして、業務地区としての利便性も向上したように感じます。何より銀杏の匂いと処理から解放されたことに組合員さんからも感謝の言葉をたくさんいただきました。さて、最近、出張に行った時のさやかな楽しみが早朝ランニング。普段は帰宅後の夕方に行っていますが、出張中では走れるタイミングは朝しかないで試してみたらこれが結構気持ちがいい。ということで出張に行く時はランニングの準備をして出かけます。▼ただ早朝ランニングできる条件はなかなか厳しく、前日の飲み会で遅くならない(自分との戦いです)、翌日の予定が朝早くない(予定には勝てない)、天気がいい(天気との戦いです)などをクリアする必要があり。▼これらの条件をクリアして早朝ランニングできたのは、横浜、札幌、東京など。横浜はベイエリア周辺に宿泊したので、海風を浴びながら赤レンガ倉庫や大さん橋周辺を走ったのはとても気持ち良かったです。東京では夢だった皇居ラン!一周5キロなのですが宿泊地の新橋から走っていったら結構な距離になりました(笑)。信号がないのでストレスなく走れるのはランナーには嬉しいですね。皇居ランが人気なのも納得です。▼知らない街を走ると車移動では気づかないところが見えるのも楽しみの一つ。街角の可愛い象のアートや満開で綺麗な公園の花壇に癒されながら走っています。ランニング用品が増えるので荷物が増えますが、それもトレーニングと受け止めて出張ランニングを楽しみます。(小田切)

ENEOS EneJet DOUTOR

青森市第二問屋町4-10-26

EneJet問屋町SS

TEL 017-762-1676

ドールコーヒーショップEneJet問屋町店

TEL 017-729-1470



一建設から暮らしまで

カクヒロ

灯油・LPGのご用命は当社へ

(株)角弘 青森燃料センター

青森市第二問屋町3-10-10

TEL017-762-3866